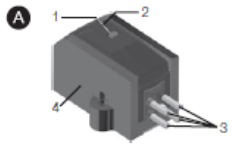
TAS1600/TAS1500 取扱説明書

この度は、TAS1600/TAS1500 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。

■ 安全上のご注意

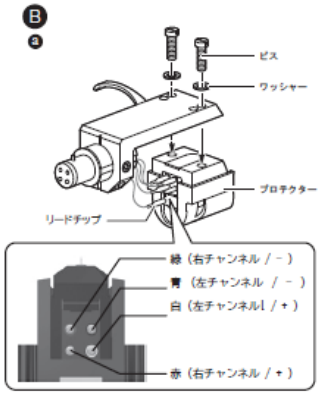
- 製品に付属のビニール袋は、お子様の手の届かない場所に保管し、火気に近づけないでください。事故や火災の原因となります。
- 製品はお子様の手の届かない場所に保管してください。事故や故障の原因となります。
- 製品を直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温・多湿・ほこりの多い場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 製品のカンチレバーや針先には触れないでください。故障の原因となります。
- 製品を分解・改造しないでください。故障の原因となります。
- 製品に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

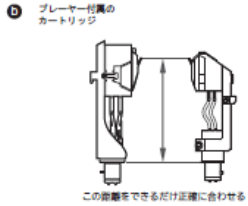


■ 各部の名称（A）

ご使用前に、各部の名称をご確認ください。

1. 針先
2. カンチレバー
3. 出力端子
4. カートリッジ本体





■ 使用方法（B）

本製品は非常に繊細です。十分に注意して取り扱ってください。
本製品は、貫通穴タイプのヘッドシェルまたはヘッドシェル一体型トーンアームにのみ取り付けることができます。

1. ヘッドシェルまたはヘッドシェル一体型トーンアームに製品を取り付けます a
カンチレバーや針先を傷つけないよう、プロテクターを装着したまま取り付けてください。
ネジは仮締めにしてください。

2. 出力極性に注意しながら、リード線を接続します（a）
ヘッドシェルのリード線を、製品の出力端子に接続してください(図のとおり)。
出力端子に熱(はんだなど)を加えないでください。

3. 製品からプロテクターを取り外します。

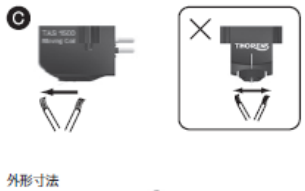
4. 製品を取り付ける正しい位置を決定します(オーバーハングを調整)（b）
トーンアーム、ターンテーブル、またはヘッドシェルの取扱説明書に従って、オーバーハングを調整してください。
ご不明な場合は、針先をトーンアームに元々装着されていたカートリッジの位置に合わせてください(図のとおり)。
左右のバランスを確認しながら、ネジを本締めしてください。

5. 針圧を調整します。

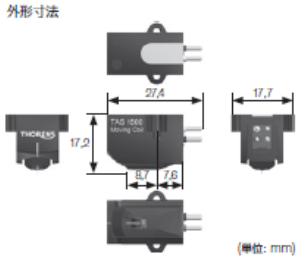
本製品のトラッキングフォースは 1.8-2.2ｇです。(2.0ｇ標準)
不必要に針圧をかけないでください。レコードや針を傷めるだけでなく、音質を損なう恐れがあります。

6. トーンアームの高さを調整します。

横から見て、ヘッドシェルの底面とレコード面が平行になるように高さを調整してください。トーンアームの高さが不適切な場合、製品本体がレコードに接触し、音質を損なったり、レコードを傷つける恐れがあります。
プリアンプ/プリメインアンプに接続するには、昇圧トランス、ヘッドアンプ、または単体のフォノイコライザーが必要です。プリアンプ/プリメインアンプにフォノ入力(MC 対応)がある場合は、そのままご使用いただけます。ただし、本製品の音質を最大限に引き出すには、昇圧トランス、ヘッドアンプ、フォノイコライザーのご使用をお勧めします。接続方法については、接続する機器の取扱説明書をご参照ください。



外形寸法



■ お手入れ（C）

- ブラシを使用して、針先のほこりや汚れを取り除いてください。
- ブラシは必ずレコードの回転方向に動かしてください。
- 頑固な汚れには、スタイラスクリーナー(別売)のご使用をお勧めします。
- 製品をトーンアームから取り外す際は、必ずプロテクターを装着し、アンプなどの熱源や磁性体から離れた場所に保管してください。

PDN